



学地連主催 ペーパークラフト体験

2月15日(日)、学地連主催の「ペーパークラフト体験」が行われ、児童・保護者合わせて18名が参加しました。紙に印刷された飛行機の図面を、はさみで丁寧に切り取る作業からスタートしました。そして、会長さんの指導のもと、ボンドで貼り合わせながら立体的に組み立てていきました。学地連のスタッフや職員、保護者の皆様の助けがあり、子供たち全員が無事に完成させることができました。最後には、恒例の「的当て大会」です。今年も、小松崎会長さん手作りの台にたくさん並んだお菓子を的にして、子供たちも保護者の皆様も笑顔いっぱい楽しく飛行機を飛ばしました。ものづくりだけではなく、世代を超えた交流の楽しさを感じました。学校は地域の中にあり、地域の力によって支えられています。このような体験活動をとおして、子供たちが人とのつながりの温かさを感じ、自分たちの町に誇りをもてるように育っていくことを願っています。改めまして、学地連の皆様には、今年度も楽しい企画を立て運営していただき、ありがとうございました。今後、ご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。



2/18 避難訓練



昼休みに、原子力災害時を想定した避難訓練を実施しました。屋内へ避難するときには、

- 衣類に付着した放射性物質を落とす
- 服を着替えて、うがいや手洗いをする
- 窓やカーテンを閉め、エアコンや換気扇を消す
- マスクやハンカチなどで口を覆う
- 皮膚を露出させない(上着や帽子などの着用)

など、基本的な行動の確認をしました。また、**汚染された服を脱ぐときには、裏返しにして汚れた面を内側にするように脱ぎ、ビニル袋に入れる**練習を行いました。

様々な非常災害に備えるためには、日頃の訓練が重要です。今後も、子供たちを守るために、さらなる安全対策に努めて参ります。ご家庭でも、以前に配付しました「防災ハンドブック」を活用し、避難場所や方法等をご確認ください。



2/19 伝統芸能体験教室



日本の伝統文化に対する理解を深めるとともに、豊かな人間性を育むねらいで、「歌舞伎」を体験する教室が町内小中学校で開かれました。南エリアでは、南

小6年生と南中1年生が一緒に体験しました。普段はなかなか触れる機会の少ない文化ですが、歌舞伎役者である市川九團次様の指導のもと、子供たちはその魅力を存分に味わいました。まずは、独特の声のかけ方を教えていただき、みんなで「いよ〜っ！九ちゃん！」と楽しく呼びかけました。また、女形の立ち振る舞いや見得の切り方、歌舞伎のメイクである隈取り、立ち回りの動きなどを体験しました。体験の締めくくりに全員で集合写真を撮り、笑顔あふれる時間となりました。



大洗うみ・まちコミュニティスクール 第5回 学校運営協議会(南エリア)

17日(火)、今年度最後となる第5回目の協議会を行いました。これまでの小中学校の取組から、児童生徒、保護者の皆様、教職員のアンケート結果をもとに、その実施状況などについて報告をしました。また、委員の皆様からご意見等をたくさんいただき、来年度に向けた課題や目指していく子供たちの姿等を確認していきました。委員の皆様には、今年度もたいへんお世話になりました。これからも、ご支援ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。



校長室での6年生お別れ給食会